

組み合わせ時の注意点

ルーチェと同色製品の場合

ルナ シックス／ルナ ナイン／ダイヤモンド／グリッド
イルミナ／シャティエ[※]／フィーネ／アルパ[※]／ピスタ／卑（シズク）
※シャティエ、アルパは、濃度100%部分がルーチェと同色です。

ルーチェと上記の製品は同色ですが、製品ロットにより色調等の外観に若干の差異が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、イルミナシルキーWとイルミナシルキーSの2製品は、ルーチェと同色ではありませんので、イルミナ等との組み合わせ利用は推奨致しません。

グラッセと同色製品の場合

イルミナ グラッセ／ラティス グラッセ／スラット グラッセ

グラッセと上記の製品は同色ですが、製品ロットにより色調等の外観に若干の差異が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

エアリナとシエロ、イルミナ リフレクトとシルバー 1、サブリナとマーレ、
イルミナ ブラックとオパーク ブラックを組み合わせる場合

それぞれ、同様のパターンと同色ですが、製品ロットにより外観に若干の差異が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。



柄のある製品の突き合わせ貼りについて

●3M™ ファサラム™ ガラスフィルムは表面の傷付き性を考慮した設計となっていますが、スキージーで強く圧着する際の表面保護のために、製品から剥離した剥離フィルムで表面を覆いその上から圧着してください。剥離フィルムは粘着面に貼りついていた滑り性の良い面を必ずスキージーで圧着する面にお使いください。

100μmを超える厚手フィルム施工の注意点

1 フィルムのカット

- がたつきや歪みのないしっかりした作業台、またはカッティングマットなどの上で、採寸したサイズに合わせてフィルムをカットします。
※バリが出ないようにフィルム表面側からカッターを入れて裁断してください。フィルムが厚いので、ガラスに貼りつけた状態でカッターを入れてもきちんとカットできません。また、力を入れすぎてガラス面まで刃が入ってしまう場合もあります
- フィルムを切り残さないよう刃を最後まで引き切ります。無理に引きちぎろうとするとフィルムが伸びて歪んでしまいます。



●硬く厚いフィルムなので、カットしたフィルムを巻いてしまうと剥離フィルムの部分的な剥がれが生じて、外観不良の原因となります。

●フィルムは出来る限り現場で必要な量だけカットし、巻きとらずにその場ですぐに施工してください。持ち運ぶ際にも、フィルムは巻き取らないように注意してください。

●何枚かまとめてカットする場合は、カットしたフィルムをホコリのない場所に平らに置いてください。

●どうしてもフィルムを巻いて保管しなければならない場合は、剥離フィルムが外側にくるように保管してください。

●フィルムの原反ロールの保管方法
フィルムの原反ロールを保管する場合は、巻きゆるみがないようにきちんと巻いて、フィルム端部をテープ止めてください。

※原反を切りっぱなしにしておくと、剥離フィルムが浮いて粘着剤層に跡が残る、外観不良の原因になります。

※テープ止めには、3M™ シーリングマスキングテープ79Hを使用してください。

●総厚350μmを超える防犯フィルムを施工する場合は、さらに強く、回数を多くフィルムの圧着をしてください。

2 フィルムの圧着

- フィルムの圧着の不足、ムラは水泡・気泡の発生原因となり外観不良へとつながります。以下のポイントに注意して、十分にフィルムの圧着をしてください。
 - ①両手をそろえてゆっくり、強く、均一に力をかけます。圧着スピードが早すぎると水分が十分に抜けません。両手で強く、一定圧でフィルムの圧着をしてください。
 - ②補助的に小さめのプラスチックスキージーなどを使用すると水分が抜けやすくなります。またスキージーの傷やへたりは圧着不足やフィルム面への傷、むらを生じさせます。スキージーのエッジは傷のないシャープな状態を保ち、材料のへたりにも注意してください。
 - ③フィルムの圧着の方向をそろえます。ランダムなフィルムの圧着は、一度水抜きした部分に再度フィルムの圧着をすることになり、気泡が残ります。上下あるいは左右のみに方向をそろえてフィルムの圧着をしてください。
 - ④フィルムの圧着は1/2～1/3重ね合わせを作って行います。水抜きの不十分な部分を確実になくすために、1/2～1/3重ねてフィルムの圧着をしてください。

型板・すりガラス用フィルム施工時の注意点

- フェルトテープ等を貼ったプラスチックスキージーをご用意ください。
- 飛散防止性能を最大限に発揮するためにガラス面を十分に清掃した状態で施工してください。
- ライナーを少しずつ剥がしながらドライ貼り施工してください。
- ガラスを傷付ける恐れがありますので、ガラス上でのカットではなく、4辺プレカットを推奨します。
- 施工後のフィルムを剥がすことは出来ませんが、施工環境や経時によりガラス表面に粘着剤が残る可能性があります。
- フィルムを貼ることで目隠し性や透明性が変化することがありますので、事前に剥がせるサイズの小面積でサンプル施工をし、ご確認ください（表面未清掃の場合は施工直後であれば糊残りしにくく剥がしやすいです。）。
- 施工後のフィルムに指や物が強く触れると、ガラスと粘着剤の接触面積が変化し、外観が変わることがありますのでご注意ください。